

第2次中期目標（2015年～2020年）修正アクションプラン及びKPI（評価指標）

項目	中期目標	アクションプラン	KPI				
			項目	2020	2017	2018	2019
1. 財政基盤	健全で安定した財務基盤を構築維持するとともに、きたるべくキャンパス拠点化構想の推進をサポートできる財務体制の構築する。	①事業計画と人事計画に連動した予算計画を構築する。 ②事業計画推進に必要なプロジェクトチームに加わり、財政面から様々なサポートを実施する。 ③人事部とも連動して、教職員の人員費管理を適正に推し進める。	事業活動収支差額比率	10%	0.1%	0.1%	5%
			事業活動収入に占める教育研究経費比率	30%	32.9%	37.3%	33%
			事業活動収入に占める管理経費比率	10%	10.3%	12.0%	12%
2. 人事	学校業務の高度化・多様化並びに業務量の増大に対応すべく、教職員の能力開発プランを推し進めるとともに、人員費依存率の改善のための人事計画を構築する。	①職員能力開発プランに基づき、職員の人事考課制度の導入するとともに、教員の人事評価制度の導入を推進する。 ②教職員の能力・資質向上をはかるべく、SD・FD研修を実施する。 ③キャンパス拠点化を視野に入れた人事計画を策定するとともに、ワークスタイル改革を推進する。	事業活動収入に占める人員費比率	50%	49.6%	49.6%	50%
			外国人教員等比率	38.0%	32.9%	34.0%	36.0%
			SD研修実施回数	10回	3回	5回	7回
3. キャンパス整備	キャンパス整備計画及び学生・生徒の教育環境の向上を推進すると共に、グローバル時代における国際教育への貢献	図書館リソースを活用した留学支援 海外ILL（文献複写・資料貸借依頼）システムの導入	学園校舎建物・設備類の保守対策 順次対応率	100%	80%	90%	100%
			設計・本体工事・什器備品等整備 進捗率	100%	10%	40%	80%
			教室・設備・備品学生満足度調査	90%	82%	85%	88%
			図書館学生満足度調査	90%	78%	80%	85%
			貸出利用調査	63,000	61,500	62,000	62,500
4. ICT推進	安定、安全な教育及び事務用の情報環境を維持すると共に、高等教育の環境変化に追従できる基幹業務システムを構築する。ICT活用、業務プロセス効率化による人員費拡大の抑制に貢献する。	①PC環境及び学内サーバーの維持と改善 ②認証基盤の維持と改善、教務系システムの整備と改善 ③教員用eラーニングシステムを再構築 ④管財系の業務プロセスの効率化 ⑤教務系の業務プロセスの効率化	Win10への移行台数（全PC教室など計1,650台）	1,650	300	850	1,350
			教員用eラーニングシステム再構築に向けた進捗	100%	20%	90%	100%
			管財系業務プロセス（5システム）の効率化完了システム数	100%	20%	60%	100%
			セルフアクセスセンター学生満足度調査	90%	85%	87%	89%
5. 校友ネットワーク	卒業生とのつながりを強化すると共に、卒業生のネットワークを社会の中に構築していくことにより桜美林への母校愛を育てていく。	①卒業生と大学とのつながりを強化すべく校友課を設置 ②大学卒業生を対象とした校友会組織を立ち上げて、会員と桜美林大学との関係を強化 ③学術・学芸・スポーツ・ボランティアなど多様な課外活動の取り組みをサポート	大学校友からの寄付金額	120,000,000	70,000,000	85,000,000	100,000,000
			卒業生向けイベントの参加者数	500	250	350	500
			卒業生へのメッセージ発信件数	250	-	100	200
6. 広報	大学のブランド力を高め、桜美林の認知度向上を実現し、志願者数の継続的な増加傾向を維持する。	①新キャンパス（新宿・本町田）開設と教育に関する広報を通して新たなターゲットへの浸透を図る。 ②教育内容、教員紹介、卒業生の活躍の情報発信を通して本学への入学希望を高める。 ③今後進められる教育研究関係の取組をわかりやすく、かつ魅力的に発信する。	大学サイト/直帰率	38.5%	38.5%	38.5%	38.5%
			大学サイト/滞在時間	5分	2分58秒	4分	4分30秒
			大学サイト/教育内容をキーワードとした検索の流入数	6000	3247	4000	5000
			大学サイト/ニュース・お知らせの発信件数	300	220	250	275
			年間プレスリリース数のメディア掲載率	50%	40%	45%	50%
7. スポーツ推進	スポーツを大学の魅力の一つとして、大学のブランド力を高めるとともに、スポーツが持つ力（人と人、人と地域を結びつける大きな力＝絆）を用いて、桜美林コミュニティの活性化を図る。	①スポーツ推進センターの環境整備 ②特別強化クラブの活動支援 ③特別強化クラブの学生募集支援	陸上競技部駅伝チームの成果目標	箱根駅伝予選会13位	箱根駅伝予選会19位	箱根駅伝予選会18位	箱根駅伝予選会15位
			野球部の成果目標	全国大会優勝	首都大学野球連盟1部リーグ優勝	首都大学野球連盟1部リーグ優勝	首都大学野球連盟1部リーグ優勝
			アメリカンフットボール部の成果目標	1部TOP8 優勝/甲子園BOWL出場	1部BIG8 3位以内	1部BIG8優勝/1部TOP8昇格	1部TOP8 3位以内
			弓道部の成果目標	インカレ男女優勝	インカレ男女優勝	インカレ男女優勝	インカレ男女優勝
			女子バレーボール部の成果目標	1部リーグ昇格	2部リーグ6位	2部リーグ3位以内	2部リーグ優勝、入替戦出場
			テアリーディング部の成果目標	全国大会優勝（関東大会優勝）	全国5位以内（関東大会準優勝）	全国5位以内（関東大会優勝）	全国3位以内（関東大会優勝）
			ソングリーディング部の成果目標	世界選手権優勝	日本選手権優勝	世界選手権上位入賞	世界選手権3位以内入賞
8. 学生募集	日本及び世界の国や地域から「多様性」「主体性」「協働性」「課題発見解決志向」の高い人材の確保。	①高大接続改革に基づく学生募集及び入試改革を通じた大学の学生募集力の強化・実施 ②海外学生募集の再構築と留学生確保に向けた質的・量的な向上	学生募集力としての志願者数	15,000	10,268	12,000	13,000
			次世代育成・発掘型の学生募集プログラム導入数	30	3	10	20
			海外現地入試留学生志願者数	400	259	300	350
			海外募集拠点数（現地入試導入国と地域）	10	2	5	7
9. 教育支援	本学の教育機関としてのプレゼンスを高めるため、「教育の質保証」を推進して、教学マネジメントの確立を目指す。	①桜美林大学の教育指標（基準）の確立 ②アクティブ・ラーニングなどの授業実施方法の検討 ③授業評価アンケート及びシラバスの改善 ④知識の定着率を高めるためのeポートフォリオの推進	教育指標の確立	100%	100%	60%	85%
			eポートフォリオ導入	100%	50%	70%	80%
			シラバス改善	100%	50%	75%	90%
			THE日本大学ランキング/教育満足度	50位以内	62位	55位	50位
10. 学生支援	学生同士がみずからつながり成長しあうことができるキャンパスコミュニティの構築	①課外活動団体への加入促進・支援体制の強化 ②ピア・サポートコミュニティの活性化（学生団体を支援する学生組織を立ち上げ） ③学生寮の運営体制の再整備及び支援体制の均等化	学生生活満足度（学生生活支援課総合評価）	4.85P	4.15P	4.37P	4.6P
			奨学金受給率	4.8%	0.9%	1.0%	1.3%
			中退比率	2.5%	2.8%	2.7%	2.6%
			公認団体加入率	25%	21%	23%	24%
			学生団体主催イベント数	110	50	70	90
11. 就職・キャリアサポート	キャンパス拠点化を視野に入れた学生への均質なキャリアサービスの提供及び学生の就職満足度並びに就職率の向上。	①一部業務の委託での質の低下が無いように管理する。 ②業務委託、キャンパス拠点化での学生の満足度・就職率の向上を図り、業務の構築をして行く。	就職率 就職者/就職希望者数	98%	98%	98%	98%
			就職率 就職者/卒業生数	82%	81%	81%	82%
			国内・海外インターンシップ参加者数	575	500	525	550
			進路ガイダンス・セミナー参加者数	16,000	15,000	15,500	15,500
12. グローバル	国際的な価値観を身につける長期留学プログラムの開発及び留学生受入環境を整備することで留学生の受入増加を図り、国際的桜美林の認知度を高める。	①BM学群、GC学群、芸文学群における英語トラックコースの設置 ②交換留学を促進する為の学生の英語力強化 ③サマーセッションの統合による留学生受入強化	派遣留学生数	1,500人	843人	1,100人	1,300人
			受入留学生数	950人	718人	800人	880人
			THE日本大学ランキング/国際性	15位	30位	25位	20位
13. 地域・社会貢献	大学のブランド力を高めるために、地域社会、産業界との連携を推進し、それぞれのニーズに積極的に応え、具体的な成果を世の中に還元する。	①産・官・学・民との連携・協働の強化 ②学内における連携・協働案件の情報の共有化 ③学生・同窓会・後援会との連携の強化	産・官・学・民とのマッチング件数	100	60	75	85
			AL・SL・OR 実施件数	20	5	10	15
			産・官・学・民 連携案件学生参加者数（ボランティア案件含む）	3,000	2,500	2,650	2,850
14. 研究・産学連携	グローバル教育に還元する研究の推進サポート及び総合研究機構の再整備。	①競争的資金獲得に向けての業務支援の強化 ②企業との受託研究・共同研究の取組の向上 ③「私立大学研究ブランディング事業」採択への取組	競争的資金（科学研究費助成事業等）の申請数	50	37	40	45
			競争的資金（科学研究費助成事業等）の採択数	16	10	12	14
			企業との受託研究・共同研究の取組数	8	4	5	6
15. 中学校・高等学校	実践力のある国際人育成のため、それを支える教員組織の効率的組織の確立とともに、教員の資質の向上を図るとともに、基礎学力の高い生徒を育て、ブランドの基礎力を高める	①長期留学、ターム留学、短期留学への参加生徒数の安定的確保 ②海外からの留学生の受け入れ（長期、短期） ③教育力向上のための研修強化	長期・中期・短期留学生生徒数（在籍生徒数に対し5%）	85	85	85	85
			留学生の受け入れ	30	30	30	30
			在学教育施設を含めた研修実施	3	3	3	3
16. 幼稚園	社会の変化に対応する幼稚園の仕組み作り・運営の推進	①預かり保育の充実 ②課外活動の充実 ③他設置校との連携強化	預かり保育利用者数	プラス20%	基準値	プラス5%	プラス10%
			課外活動種別数	3	1	2	3
			ボランティア受入数	60	40	50	60